

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月14日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府箕面市萱野5-7-1 氏 名 箕面市立病院 病院事業管理者 大橋 修二 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-728-2001	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	箕面市立病院
事業場の所在地	大阪府箕面市萱野5-7-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	83：病院
②事業の規模	317床
③従業員数	471人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙のとおり			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	排 出 量	150 t	— t
	(これまでに実施した取組) 感染性廃棄物の発生場所ごとの発生量を把握している。		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	排 出 量	149 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 再利用が可能な感染性医療器具の売却譲渡を行い、抑制に努める。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物の分別を徹底し、発生抑制に努めている。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物の分別を徹底が定着化するよう、抑制に努める。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により 減量した特別管理 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により 減量する特別管理 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 予定無し。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	全 処 理 委 託 量	150 t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	150 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	— t
	(これまでに実施した取組) 収集・運搬・処理に関し、定期的に現地確認を行っている。		

②計画	【目標】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 の 種 類	感染性廃棄物	—
	全 処 理 委 託 量	149 t	— t
	優良認定処理業者 への処理委託量	149 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	— t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 継続して現場確認をすることで、適切に収集・運搬・処分されている ことを確認する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 5年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	150 t	
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組等) 継続して使用する。		

(第6面)

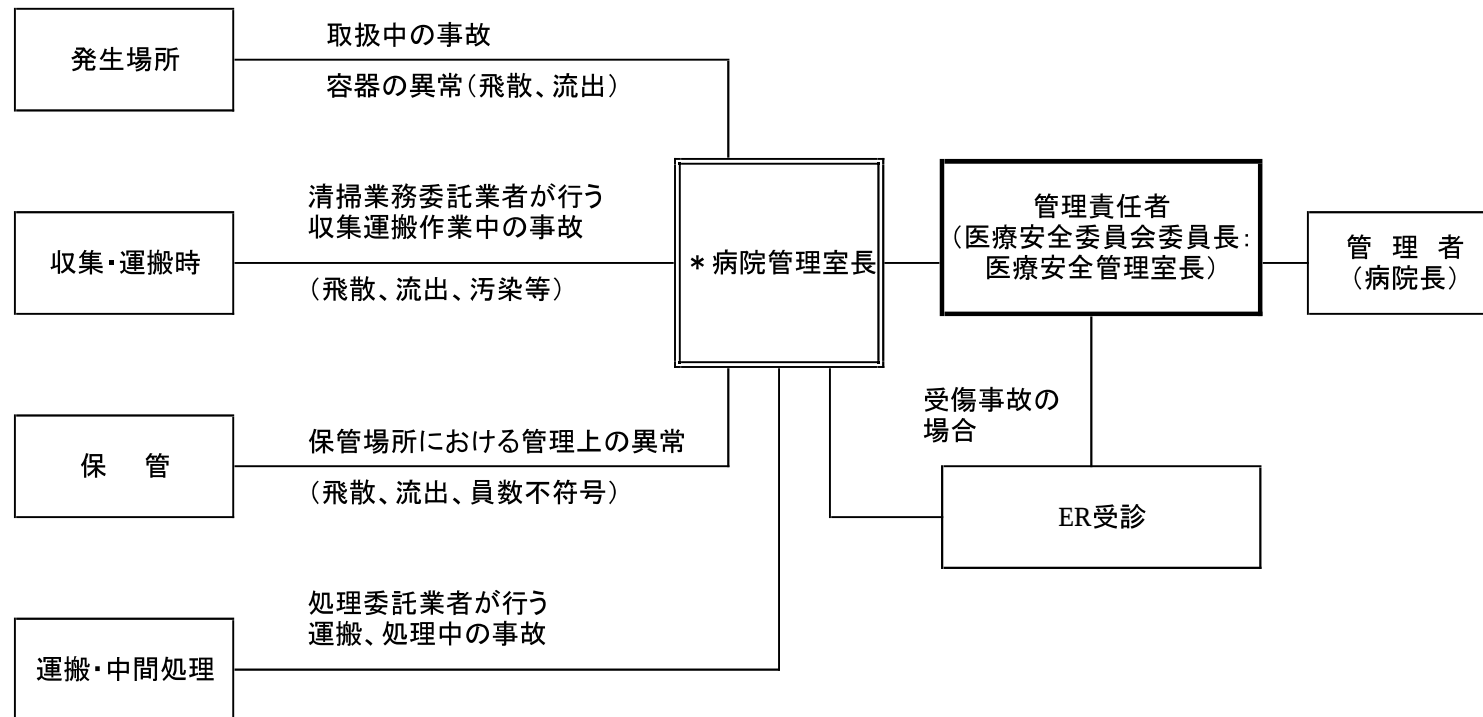
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

2. 分別・梱包及び処理要領

分			別	回収容器	院内保管	院内処理	色分	収集運搬	委託業者	院外処理要領
法令上の分類		分別区分	種 類							
非 感 染 性	事業系一般 廃棄物	可燃ごみ	紙・繊維類	専用樹脂容器等 ごみ回収カート	ごみ貯留装置	減容	橙	毎日	清掃業務委 託業者	環境クリーンセンター (焼却)
	産業廃棄物	廃プラスチック	プラスチック類	専用樹脂容器等 ごみ回収カート	ストックヤード		紫	毎日	清掃業務委 託業者	産業廃棄物処理業者
		金属屑	金属缶等	専用樹脂容器等	ストックヤード		茶 無	随時	清掃業務委 託業者	産業廃棄物処理業者
			金属製機器類	個別回収						
		ガラス屑	瓶・ガラス類	専用樹脂容器等	ストックヤード		灰	随時	清掃業務委 託業者	産業廃棄物処理業者
感 染 性	特別管理一 般廃棄物	病理廃棄物	臓器・組織等	感染性廃棄物専 用樹脂容器又は 金属容器、紙製 容器(紙類・繊維 類等に限る)	集塵室内感染性 廃棄物保管場所		無	毎日	清掃業務委 託業者	感染性廃棄物処理業 者(溶融)
	特別管理産 業廃棄物	紙類・繊維類	血液・体液等付着 物							
		廃プラスチック、 金属、ガラス屑	血液等							
		汚泥	血液等							
		ガラス屑	血液・菌付着物類							
		水銀	水銀使用器具類							
非 感 染 性	事業系一般 廃棄物	小型不燃ごみ	小型不燃物類	専用樹脂容器	ストックヤード		赤	月1回	清掃業務委託業者	産業廃棄物処理業者
		大型ごみ	家電・事務機器類	個別回収	ストックヤード		無	月1回	清掃業務委託業者	産業廃棄物処理業者
	産業廃棄物	廃酸	酸性廃液類	樹脂容器等	本館北側貯留槽		無	随時		産業廃棄物処理業者
		廃アルカリ	アルカリ性廃液類	樹脂容器等	本館北側貯留槽		無	随時		産業廃棄物処理業者
		廃油	油脂・溶剤類	金属容器等	指定場所		無	随時		産業廃棄物処理業者
	特別管理産 業廃棄物	廃油	揮発油・指定溶剤 類	金属容器等	指定場所		無	随時		特別管理産業廃棄物 処理業者
	資 源 化 物		段ボール		ごみ回収カート等	集塵室		無	月2回	清掃業務委託業者
		古紙類		ごみ回収カート等	集塵室		無	月2回	清掃業務委託業者	リサイクル業者
		ペットボトル		専用樹脂容器	集塵室		青	随時	清掃業務委託業者	環境クリーンセンター
		空き缶		専用樹脂容器	集塵室		緑	随時	清掃業務委託業者	リサイクルセンター
		空き瓶		専用樹脂容器	集塵室		黄	随時	清掃業務委託業者	リサイクルセンター

6. 緊急時の関係者への連絡体制



* 休日・夜間における人身事故等、時間外の緊急連絡が必要な場合は、市立病院緊急連絡網により連絡。